

## バイオ燃料輸入基地の開所式について ～JBSL和歌山ターミナルが完成～

記者各位

新日本石油株式会社(社長:西尾 進路、本社:東京都港区。以下「新日石」という。)のグループ会社である和歌山石油精製株式会社(社長:前園 勝二、本社:和歌山県海南市。以下「和歌山石油精製」という。)において、バイオマス燃料供給有限責任事業組合(事務所:東京都港区、代表職務執行者:平井茂雄。以下「JBSL」という。)が利用するバイオETBEタンクをはじめとする基地設備「JBSL和歌山ターミナル」が完成し、本日、開所式を執り行いましたのでお知らせいたします。

この事業は、2008年8月に、新日石と和歌山石油精製およびJBSLとの間で、和歌山石油精製海南工場内の設備をバイオETBEの輸入基地とするための契約が締結されたことに伴い、JBSLが調達するバイオETBEの受入れ・払出しおよび保管業務を和歌山石油精製が受託して行うものです。

12月下旬には、JBSLの主な調達先となるライオンデルバセル社の米国チャネルビュー工場(テキサス州)から出荷された約22,000KLのバイオETBEが、「JBSL和歌山ターミナル」に到着する予定です。

今後、「JBSL和歌山ターミナル」は、西日本におけるバイオガソリンを製造する製油所へのバイオETBE出荷基地としての役割を担ってまいります。

以上

【開所式の様子】



左から、新日石 篠原基地管理グループマネージャー、和歌山石油精製 前園社長、JBSL 平井代表職務執行者、神出 海南市長、脇本工場長

 [JBSL和歌山ターミナル、和歌山石油精製の概要 \(PDF:89.8KB\)](#)